

大 津 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時	令和7年12月17日（水）午後1時30分～午後5時15分	
開催場所	滋賀県警察本部刑事部科学捜査研究所、大津警察署5階道場	
出席者	委員	瀧千鶴委員(会長)、小原めぐみ委員(副会長)、藤井典史委員、上下重征委員、近藤敏夫委員、上田敏子委員、上野康代委員
	警察	四谷署長、河合調査官兼警務課長、小谷生活安全課長 亀田交通第一課長
議事概要	<p>1 視察</p> <p>滋賀県警察本部刑事部科学捜査研究所において、所長より同所の業務概要について説明を受けた後、視察した。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から「科学捜査研究所の現状や実態を視察した内容を踏まえて警察活動に対する御意見、御感想をお聞かせ願いたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 会長挨拶</p> <p>会長から、本年11月に開催された協議会代表者会議の結果を報告された後「代表者会議でも活発な意見が出て有意義な時間であった。皆様も色々な意見を出してほしい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>4 議事</p> <p>委員から「科学捜査研究所には高額機器が沢山あったが、希望する機器購入の予算はついているのか。」「職員の能力は他府県に遅れていることはないのか。」との質疑がなされ、警察から「新しい機材や必要な試薬等を常に要求している。」「千葉県にある科学警察研究所で、全国の職員が集まっての研修も受けており、均一の能力を保有している。」旨の説明がなされた。</p> <p>委員から「若い職員が多いが、人材育成はどうしているのか。」旨の質疑がなされ、警察から「増員を図るとともに、古参職員が代替わりして若手を育成している。」との説明がなされた。</p> <p>委員から「職員の人事異動はどうなっているのか。待遇面では休めているのか。」旨の質疑がなされ、警察から「科学捜査研究所は専門職であるため異動はない。緊急の鑑定等で、捜査員と共に現場へ行くなど呼出も多いが待遇は非常に改善されている。」旨の説明がなされた。</p> <p>委員から「鑑定精度の競技会のような機会はあるのか。他府県との差はないのか。」旨の質疑がなされ、警察から「鑑定の精度はかなり進歩している。各府県によって基礎的な能力は同じでも応用的な鑑定には差がある場合がある。</p>	

その場合は他府県にお願いすることもある。」旨の説明がなされた。

委員から「この科学捜査研究所では、解剖はしないのか。」、「警察犬はどうしているのか。」旨の質疑がなされ、警察から「解剖は医師しかできないので、滋賀医大で行っている。」、「警察犬は、鑑識課が担当している。」旨の説明がなされた。

委員から「国スポで天皇陛下が来県された際、他府県の警察官が応援で警備に出られていた。沢山の警察官がいてくれると安心するといつも思う。つくづく大変な仕事だと思うので、頑張ってもらいたい。」旨の激励があった。

委員から「国スポに伴う警備では、滋賀県警察の大半の警察官が対応していたのではないか。」旨の質疑がなされ、警察から「通常の事件事故に対応する職員もいる。」旨の説明がなされた。

委員から「自殺希望者やうつ病になる子供がSNSを利用したり、オーバードーズする子供もいると聞くが、防止対策はどうしているのか。」旨の質疑がなされ、警察から「自殺予告等をしているSNSの発信者を特定して救助に向かっている。薬物等をネット購入したりする人も多いため、学校やサイバー犯罪対策課と連携し啓発活動を行っている。」旨の説明がなされた。

委員から「SNSが子供に及ぼす影響には憂慮しているので、引き続き、警察には各種対策をお願いしたい。」旨の提言がなされた。

## 5 次回協議会の日程

令和8年2月に開催予定